

大貝威芳教授略歴および業績一覧

本 籍 大阪府
現 住 所 大阪府茨木市北春日丘一丁目26番5号

学 歴

昭和27年3月 石川県立金沢泉丘高等学校 卒業
昭和27年4月 神戸市外国語大学外国語学部英米学科 入学
昭和31年3月 神戸市外国語大学外国語学部英米学科 卒業
平成6年4月 大阪市立大学大学院経済学研究科・博士前期課程（国際経済専攻）入学
平成8年3月 同課程修了（経済学修士）
平成8年4月 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程（マネジメントシステム専攻）入学
平成11年3月 同課程単位取得 満期退学
平成15年4月 神戸大学大学院経営学研究科・博士後期課程再入学
平成15年9月 同研究科後期課程修了（経営学博士）

職 歴

昭和31年4月 松下電器産業株式会社入社 外国部配属
昭和35年12月 アメリカ松下電器出向 ニューヨーク駐在
昭和50年5月 テレビ輸出事業部・事業部長
昭和53年10月 フィリピン松下電器（合弁会社）代表取締役・副社長 マニラ駐在
昭和56年9月 本社海外統括本部・欧州部長
昭和58年3月 ビデオ北米輸出事業部・事業部長
平成2年4月 オーディオ・ビデオ本部経営企画室長などを歴任。
平成6年1月 同社を定年退職し客員となる

大学教職経験

平成5年9月 龍谷大学経営学部非常勤講師（ケーススタディー国際経営）
平成6年4月 （兼）京都学園大学非常勤講師（国際経営論）（平成10年まで）
平成10年4月 龍谷大学経営学部教授（多国籍企業論など）

平成12年4月 (兼) 神戸大学経営学部非常勤講師 (グローバル経営) (前期)

平成16年3月 龍谷大学定年退職

研 究 業 績

著 書

「フィリピンにおける経営とコミュニケーション」

片岡信之・三島倫八編著『アジアにおける日系企業の異文化コミュニケーション』(共著)

文 眞 堂 1997年

『アメリカ家電産業の経営史 国際競争のダイナミズム』(単著)

中 央 経 済 社 1998年

『競争と戦略のグローバル化 21世紀多国籍企業の展望』(単著)

中 央 経 済 社 2000年

論 文

「アジアにおける経営現地化と人材育成」

アジア経営学会『アジア経営研究』第5号 1999年

「日系テレビ企業のメキシコボーダー立地戦略」

日本経営学会『経営研究』第6号 2000年

「日本企業のカラーテレビ対米輸出 松下電器のケース」

経営史学会『経営史学』第36巻第4号 2000年

「RCA の経営戦略」

『龍谷大学経営学論集』第34巻第2号 1994年

「民生電子工業の多国籍化」

『龍谷大学経営学論集』第35巻第1号 1995年

「フィリピンにおける経営とコミュニケーション」

『龍谷大学経営学論集』第35巻第3・4号 1996年

How "Made in Japan" Was Established : The Export Strategy of Japanese Consumer Electronics Industry

『龍谷大学経営学論集』第36巻第1号 1996年

「米国テレビ産業の衰退 モトローラ・テレビ部門売却の背景とその意義」

『龍谷大学経営学論集』第36巻第2号 1996年

「多国籍企業の子会社コントロール フィリップスのアメリカ経営」

『龍谷大学経営学論集』第36巻第3号 1996年

「家電産業の新たなアイデンティティ」

『龍谷大学経営学論集』第36巻第4号 1997年

「コア・コンピタンスなき経営」

『龍谷大学経営学論集』第37巻第1号 1997年

「Matsushita Comes to America」	『龍谷大学経営学論集』 第37巻第2号	1997年
「チェコの新工業化」	『龍谷大学経営学論集』 第37巻第3号	1997年
「輸出競争力と産業政策」	『龍谷大学経営学論集』 第38巻第1号	1998年
「日本的競争力の海外移転とM & A」	『龍谷大学経営学論集』 第38巻第2号	1998年
「競争戦略におけるアライアンス形成」	『龍谷大学経営学論集』 第38巻第3号	1998年
「国際的に通用するキャリア開発」	『龍谷大学経営学論集』 第38巻第4号	1998年
「進む経営現地化・進まぬ現地人化」	『龍谷大学経営学論集』 第39巻第1号	1999年
“Japanese Competitiveness and Corporate Culture: A Historical Approach”	『龍谷大学経営学論集』 第39巻第2号	1999年
「小国のミニ巨人」	『龍谷大学経営学論集』 第39巻第3・4号	2000年
「国際競争力キャッチアップ戦略序説(1)」	『龍谷大学経営学論集』 第40巻第1号	2000年
「同(2)」	『龍谷大学経営学論集』 第40巻第3・4号	2001年
“Catching-Up Strategy on Global Competitiveness in the 21st Century”	『龍谷大学経営学論集』 第41巻第1号	2001年
「フィリピンの財閥と多国籍化」	『龍谷大学経営学論集』 第41巻第2号	2001年
「ヨーロッパテレビ産業の再編」	『龍谷大学経営学論集』 第41巻第3・4号	2002年
「黎明期の輸出マーケティング 松下電器の対米戦略」	『龍谷大学経営学論集』 第42巻第1号	2002年
「アプライアンス企業のグローバル化(1)」	『龍谷大学経営学論集』 第42巻第3号	2002年
「同(2)」	『龍谷大学経営学論集』 第42巻第4号	2003年
「国際競争力キャッチアップ戦略(3)―松下電器対米 カラーテレビ輸出の事例」	『龍谷大学経営学論集』 第43巻第1号	2003年
「同(4)」	『龍谷大学経営学論集』 第43巻第2号	2003年

「同(5)」	『龍谷大学経営学論集』 第43巻第3・4号	2004年
「日本エレクトロニクス産業のものづくりと国際競争力」	『龍谷大学経営学論集』 第44巻第1号	2004年
「Radio Shack の研究」	大阪市立大学『大阪市大論集』第75号	1994年7月
「Zenith の経営戦略」	大阪市立大学『大阪市大論集』第79号	1995年7月
「リサーチ・ライティングと言語表現：アカデミックとビジネスコンテクストにおける事実と誤謬」 Peter Matthews and Jun Akamine (eds.) 『Senri Ethnological Reports : Research Writing in Japan』	民族学博物館 Reports 49	2004年
「ZENITH 経営の歴史的考察」	大阪能率協会『産業能率』	1994年11月
「国際ビジネスとマナー」	大阪能率協会『産業能率』	1997年4月
外国文献紹介		
「 <i>Competing for the Future</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1995年1月
「 <i>WAL・MART</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1995年5月
「 <i>Leading Product Development</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1995年11月
「 <i>Strategic Alliances</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1996年5月
「 <i>The Bamboo Network</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1996年9月
「 <i>Intelligent Business Alliance</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1997年1月
「 <i>Forbes Greatest Business Stories of All Time</i> 」	大阪能率協会『産業能率』	1997年2月

書 評

<i>Conflict Management in the Asia Pacific: Assumptions and Approaches in Diverse Cultures</i> , John Wiley & Sons, 1998.	アジア経済研究所『アジア経済』	1999年8月
---	-----------------	---------

講 演

海外技術研修センター AOTS 「Top Management Seminar」 1999年5月ほか数回
JICA 関西国際研修センター, 太平洋人材交流センター (PREX), 同志社大学商学研究会, 桃山学園大学特別講義など

学 会 報 告

アジア経営学会関西部会	立命館大学	1997年4月
経営史学会関西部会	龍谷大学	1997年12月
日本経営学会関西部会	関西学院大学	1998年6月
アジア経営学会全国大会統一論題	千葉商科大学	1998年10月

アジア経営学会全国大会

創 価 大 学

2000年10月

龍谷大学社会科学研究所研究会

龍 谷 大 学

2002年12月

龍谷大学経営学会第2回研究会

龍 谷 大 学

2003年7月